



佐藤秀則さんから自転車のタイヤを受け取る新沼光正さん(左)。がれきの中から懸命に店の再建を目指す=大船渡市大船渡町

東日本大震災で被災した大船渡市大船渡町のバイク、自転車店「新潟モータース商会」(新潟勝蔵店主)が、店の再建に立ち向かっている。津波により店舗兼住居は2階まで浸水。販売・修理する自転車やバイク、部品・工具の多くを失ったが、20日に同業者や仲間の思いがこもった部品・工具類が届けられた。「心折れずに頑張りたい」。支援への感謝を胸に新たな歩み踏み出す。

40年ほど前に父勝蔵「散らした。店にあ

れり盛りする新沼光正さん(44)は、「惨状を目の前に頑張りたい」。支援への感謝を胸に新たな歩み踏み出す。

40年ほど前に父勝蔵

をしなければ収入もな

い」。現実を受け入れ、再開を目指すことに決意した。

3月下旬、かつて美佐江さん(43)が同店を訪れた。佐江さんの同僚だった佐藤さんの同僚だった佐藤さん(43)と協力しがれきの撤去作業を始めた。されば修理の仕事はできる。すぐに妻美江さん(43)と協力し始めた。

「少しでも早く店を始めたい」という言葉を聞き、佐藤さんは支援に動きだした。

佐藤さんは「本当に動きだした。

1月に店主が亡くな

り、店を開じていた。

佐藤さんの近くにあ

る自転車店「オ川輪店」

佐藤さんは20日、北

佐藤